

人権コーナー

同和問題(部落差別問題)は、今も身近な課題です

同和問題(部落差別問題)とは、同和地区、被差別部落などと呼ばれる特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に差別を受けるといふ日本にだけある人権問題です。結婚を妨害されたり、就職の機会を奪われたりするなど早急に解決しなければならぬ重大な人権侵害が今もなお起きています。

『ふるさと』
“ふるさと”をかくすことを
父はけもののような鋭さで覚えた
ふるさとをあげかれ縊死した友がいた
ふるさとを告白し
許婚者に去られた友がいた
吾子よ お前には胸張ってふるさとを名の
らせた
瞳をあげ何のためらいもなく
“これが私のふるさとです”と
名のらせた
丸岡忠雄 詩集「ふるさと」より

部落差別をなくすために

- 部落差別問題について関心を持ち、正しく理解しましょう。
- 部落差別をはじめとする差別の問題は、差別する側の人の問題です。差別をする人がいなくなれば、差別はなくなります。
- すべての人の人権が尊重される社会の実現のために、私たち一人一人ができることを考え、行動に移していくことが大切です。

丸岡さんは、堂々と自分の「ふるさと」を語る人間になってほしいという願いを込めて『ふるさと』をよみました。